コンサートレポート

7/22

豊中SE第3回コンサート

豊中市立文化芸術センター

会場は斬新で音響効果も良く、２００席のホールは人気が高く１年前の予約抽選は激戦。幸いにも昨年に続いて当選。前回はコロナ禍に翻弄され制限の中での開催でしたが、今年は早々に、満席となり大盛況。

第一部は洋楽でイタリアの歌４曲。タンゴ２曲。クラシック２曲。休憩後、第二部は日本の歌で夕焼け小焼けのパラフレーズ。ジブリ２曲。昭和はやり唄４曲。日本のポップス２曲。アンコールの「ラデツキー行進曲」では会場の皆様の手拍子を頂き、楽しい演奏となりました。

楽器編成はバイオリン４、ハーモニーカ３，フルート３，リコーダー２，オカリナ３，クラリネット２，ギター１、ベース１、ピアノ１，パーカッション１のユニークな編成。唯一の若者、指揮者の古山丈先生の豊かな感性で、よく纏まりました。コンサート後に大正琴２が増え、次回が楽しみです。

（記：河瀬容子）

10/1

君津SE 発足演奏会

君津シニアアンサンブルは２０１９年の２月に創設しスタートしました。思い返しますと発足から約１年が経過した時期にオープニングコンサートを開催する予定でしたが、その準備も整い、いよいよという１週間前にコロナの流行拡大が始まりました。結局演奏会場も閉鎖を余儀なくされてしまったのです。

それからの約３年間、コロナ禍の各種制約を受けつつ、時には予期せぬ事態で戸惑ったりもしましたが、大野先生の厳しくも温かいご指導のもと毎週１回の練習を楽しんでまいりました。

演奏会当日は10月とは思えない真夏のような天気となりましたが、会場がほぼ満席になるくらいの盛況で、お客様から温かいご声援をいただき、気温も心も熱い演奏会となりました。団員一人一人の胸の内は大変な緊張と心の高まりであったにも拘らず、演奏会を盛会裡に終えることができ、大きな喜びと達成感を分かち合うことができました。この経験を活かしこれからもシニアとして、地域に根付いた音楽活動を続けていきたいと思います。　代表　佐藤雄志

9/28

我孫子SE 第10回演奏会

まだ暑さが残る９月の平日でしたが、ありがたいことに座席数５５０の開場はほぼ満席で、始まる前から熱気にあふれているように見えました。その熱気は私達の若い力あふれる指揮者、横林先生の登場で更に盛り上がりました。

第１部はクラッシックと映画音楽。当日行った会場アンケートによるとウエストサイドストーリーが人気ナンバーワンでした。

第２部はポピュラー音楽。お客様が歌でご一緒してくださった２曲が人気でしたが、団員２名が歌声を披露した２曲も会場を盛り上げました。

アンコールリフレイン部分でお客様にも手拍子とハミングで参加していただきました。舞台と客席が一体になったように感じられました。昨年初めてシニアオケに入り戸惑っているとき、暖かく熱心に導いてくださった鴨井先生にとても感謝しています。

音楽がこんなにエキサイティングだとは。

田嶋以公美

10/9

四街道SPO 第17回定期演奏会

四街道市文化センター

魚路サウンドを奏でる

今回の定期演奏会は、一年前に亡くなられた前指揮者成島弘先生に代わり、就任していただいた魚路さんの指揮によって開催しました。

実は、今年の二月に成島先生の追悼演奏会の時に魚路さんの指揮で演奏しましたが、この時は、団員の気持ちが未だ成島先生の指揮の色を引きずっていたような気がします。

それから約８カ月を掛けて練習を重ね、今回は魚路さんの指揮に沿った演奏が出来たのではないかと思います。

魚路さんの指導は「楽譜にかじりつかずタクトを見る！」というもので、特に演奏速度の変わる曲、「愛の挨拶、仮面舞踏会、ハンガリー舞曲第五番、ジェラシー」はタクトに合わせないと演奏になりません。当然のことが中々出来ないのがシニアの特徴？かもしれません。練習の甲斐あって本番ではまずまずの演奏でした。四街道シニア・ポップスオーケストラ　代表　日和一郎